

Collective Fukuoka Plus

コレクティブ ふくおか+

Navi-raz 編集長
砂畑 龍太郎 さん



11/6(土)
15:00 - 18:00  オンライン

現役学生ライターが取材を通して、福岡の中小企業の魅力をお届けする企業情報プラットフォームNavi-razの発起人。月間30万PVの同メディアにてプロのライターと並んで記事を執筆中。

【開催レポート】実践プログラム④ ライティング講座 2

こんにちは！コレクティブふくおか+事務局です。

2021年11月6日、「コレクティブふくおか+」の実践プログラム④「ライティング講座2」の開催レポートをお送りします。

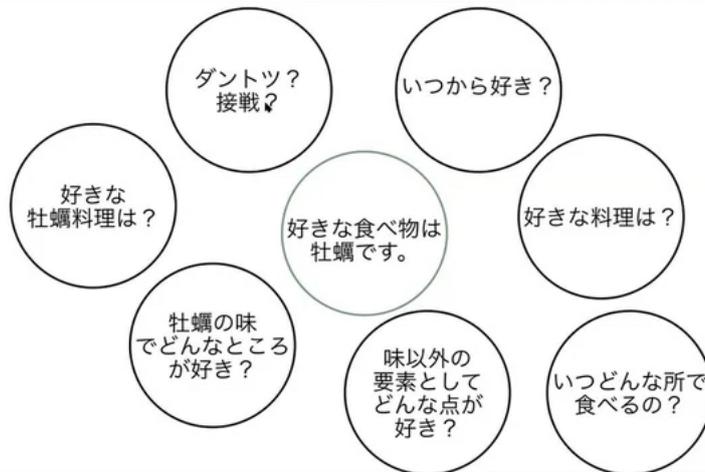
ライティング講座 2

〈講師〉学生ライターが取材を通して、福岡市の中小企業の魅力をお届けする企業情報メディア「Navi-raz (ナビラズ)」編集長の砂畑 龍太郎さん



前回に続き、記事の書き方のほか、実際に取材に行くにあたってインタビューにおける話の引き出し方等についてお話いただきました。

①多面的に話題を見る



砂畑さん：例えば、好きな食べ物をテーマに、多面的に物事を見ようとしたら、「どんな時から好きですか？」「一番好きなんですか？」など事実確認したり、相手が気づいていなかった価値観や思考性など、その人の魅力を引き出していきます。

②話しやすい環境を作る



砂畑さん：リアクションの目的は、リアクションを取ることそのものではなくて、相手が話しやすくなるようにすることです。自分がリアクションしたことによって満足するのではなくて、相手にちゃんとリアクションが伝わるようにしましょう。

③インタビューの目的を意識する



相手の魅力を最大限引き出す！

~~メモをとる~~

~~自分が楽しむ~~

~~時間を
使い切る~~

砂畑さん：インタビューは、メモをとることが目的になってはいけないし、自分が会話を楽しむことになってはいけないし、時間を使い切ることが目的になってはいけない。インタビューの目的は、相手の魅力を引き出すことで、そのための材料を集めることを意識してください。

リンク先：

<https://navi-raz.com/>

参加者の声

ご参加いただいた方のご紹介をします。

好きな食べ物の質問から相手はこんな人なのかな？ってわかるところがすごく面白かったです。また、「文章のリズムをつける」という話の中で、語尾のバリエーションを豊かにするという話があったのですが、これを聞いて今大学で書いてるレポートの語尾をもっと気にして書こうと思いました。今回もすごく充実した3時間でした。ありがとうございました。

当初はインタビューに対してかなりハードルが高いイメージを持っていましたが、わかりやすい講義と実際にブレイクアウトルームでの実践で、今はとても楽しみで仕方がないです。ありがとうございました！

今回も楽しく分かりやすく、ライティングのエッセンスが盛り沢山の講義をありがとうございました！「文面のルックス」や「多面的に話題を見る」ことは、今まで気にしていなかったもので、新たな気づきをもらいました。講義を振り返りながら、インタビューに臨みたいと思います。ありがとうございました。

次回はフィールドワークの様様をお伝えします。各チームが関心を持っている社会課題の解決に向けて取り組んでいる実践者にメンターになっていただき、メンターが活動している現場などへ伺って、インタビューを行います。各チームの記事は、「コレクティブふくおか+」のnoteにて公開されますので、お楽しみに！